



流防協だより

令和2年
1月
第54号

発行：一般社団法人
千葉県流通商防犯協力会
千葉市中央区中央3-4-8 コーノスビル7F
TEL.043-224-0893 FAX.043-224-2241
HP <http://www.cppd.jp/>

当法人は、各会員の相互扶助の精神に基づき、団結して防犯対策及び暴力団排除活動並びにパチンコ賞品の合法、適正な流通を推進することにより、会員の健全な経営活動を促進し、かつ、その地位の向上を期することを目的とする。



令和2年 年頭ご挨拶



一般社団法人千葉県流通商防犯協力会
理事長 立澤 真人

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、ご家族ともどもご健勝で輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶びを申し上げます。

また、昨年中、当協力会に賜りました多大なるご支援ご協力に対しまして衷心より御礼を申し上げますとともに、9月、10月と相次いで発生した台風により、被災されました会員及びご家族様に対し、心からお見舞いを申し上げ、被害地域の日も早い復興・復旧を御祈念いたします。

さて、本年は、東京オリンピック・パラリンピックが56年ぶりに開催される歴史的な年であり、大きな経済波及効果が期待されています。

この記念すべき年に当たり、当協力会の取り組むべき課題等につきまして会員皆様方にご理解をいただきたく、所信の一端を申し述べたいと思います。

昨年は、米中の貿易摩擦をはじめ、英国のEU離脱を巡る混乱や香港のデモ等により、世界景気が全般的に勢いを欠き、日本経済も輸出が力強さを欠くものとなりました。しかし、個人消費は、台風などの大きな災害や10月の消費税増税があったなかで、多くの業種で人手不足や働き方改革など一人当たりの労働時間が減少したことにより雇用数は増加し、賃金面でもその影響によって企業がベースアップを実施するなど雇用者の賃金は伸びております。

加え、物価は政府の少子化対策による教育・保育の無償化や軽減税率導入によって、物価上昇も小幅に抑えられて、今後、家計の負担増が緩和され、個人消費は緩やかに回復を持続すると見られております。

我々遊技業界を見てみますと、レジャー白書2019では2018年のパチンコ参加人口は950万人、前の年から50万人増え4年ぶりの増加となったものの、一人当たりの年間の遊技回数は、前年の29.4回から28.5回に下がったほか、年間平均費用も8万5,100円から8万1,800円に下がっております。

しかし、余暇市場全体の市場規模は71兆9,140億円で、そのうちのパチンコの市場規模は20兆7,000億円と他の業種と比べ突出した大きな市場であることには変わりありません。

こうした厳しい状況のある中において、東京オリンピック・パラリンピックの開催により国民一人一人の消費支出の拡大や4,000万人が見込まれる訪日外国人旅行者の消費など、経済波及効果は大きなものとなり、それによる更なる参加人員の増加を期待しているところです。

それには遊技業界全体で、国民や訪日外国人から支持されるような娯楽性と健全性を進めていかなければならないと思っております。

我々賞品卸業においては、昨年のラクビーワールドカップでベスト8入りを果たした日本代表の様に、問屋の大小に関係なく「ワンチーム」となって、娯楽性、健全性に的確に対応するため、引き続き、現在、中断している「新賞品流通システム」の再開に向け歩みを進めていかなければならないと考えております。

一方、設立以降一環として取り組んでまいりました「防犯対策」、「暴力団排除活動」及び「社会貢献による地位向上」の三本柱については、会員皆様のご尽力と

ご協力により、着実にその成果を上げてきたところであり、本年以降についても、各種施策を推し進めなければならぬと考えております。

まず、防犯対策についてであります。昨年、千葉県内では、賞品(景品)買取所に対する強盗事件1件、窃盗事件1件の発生があり、他県においても、賞品(景品)買取所に対する連続強盗事件が発生しております。

強盗事件の犯行手口は、犯人が従業員の行動を把握し、営業開始間際や営業終了間際の際を狙って複数で犯行に及んでおります。このことから、会員皆様には、賞品(景品)買取所の従業員への注意喚起を図るとともに、防犯カメラや防犯ブザー等の活用を図るなど、防犯対策に努めていただくようお願い致します。

次に、暴力団排除活動についてであります。昨年一年間において、当協力会会員に対する暴力団の関与は認められませんでした。しかし、過去にはパチンコ店から

暴力団がみかじめ料を徴取していたという事案が発生しており、暴力団の関与は常に意識しておかなければなりません。

更に、コンプライアンスを高めるとともに、会員相互の情報交換を図り、暴力団排除という社会正義の実現を通じて社会的責任を果たしていきたいと考えております。

次に、社会貢献による地位向上についてであります。

当協力会が行っている自治体、社会福祉団体等に対する支援等の社会貢献に対しては、多方面から感謝が寄せられ、昨年は、10月1日に社会福祉法人「千葉いのちの電話」からの感謝状、10月25日には千葉県警察本部生活安全部長からの感謝状、11月14日には千葉県社会福祉協議会から同会会長感謝状を受賞しました。

こうした継続的な取り組みが、当協力会の社会的地位の向上に繋がっているものと考えております。会員皆様の一層のご理解とご協力を賜り、本年も、引き続き地域防犯活動、福祉活動等への貢献を通じて地位向上に努めてまいりたいと考えております。

最後となりましたが、本年も当業界を取り巻く環境は厳しいものと認識しておりますが、当協力会会員が一致団結してこの難局を乗り越え、更なる発展に結びつけることができるよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

暴力団排除・防犯対策研修会の開催

昨年11月22日、千葉商工会議所会議室において、暴力団排除・防犯対策研修会を開催しました。

第一部では、千葉県警察本部刑事部組織犯罪対策本部捜査第四課調査官大島享史様から「暴力団情勢並びに暴排活動」等の講話の後、同捜査第四課担当係長からロールプレイングによる不当要求に対する対応要領等の実践講座を行っていただき、参加者は暴力団に対する危機意識を再認識するとともに、迫力ある実践講座により、その対応要領を肌で感じる事が出来ました。

第二部では、千葉県警察本部刑事部組織犯罪対策本部国際捜査課担当係長から「クレジットカード犯罪の現状と対策」等の講話を行っていただき、スキミングやカード詐欺の細かい現状を知ることが出来、その対策などを参加者全員が考えて担当者に質問をする等、有意義な研修会となりました。



暴力団情勢の講話



ロールプレイングの状況



カード犯罪の講話

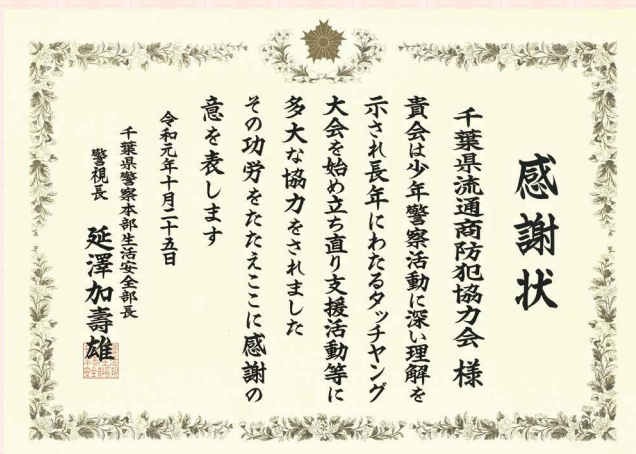
各種表彰の受賞

千葉県警察本部 生活安全部長からの 感謝状受賞

昨年11月1日、当協力会において、千葉県警察本部延澤加壽雄生活安全部長から、長年にわたる少年警察活動に対する当協力会の支援活動に対し感謝状が授与されました。



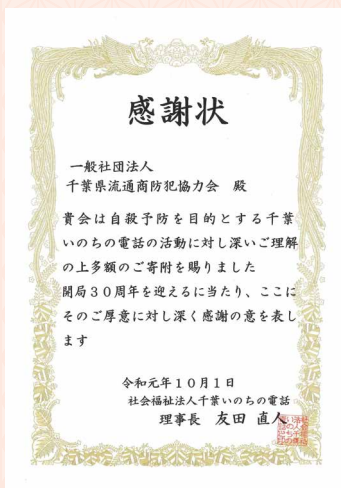
感謝状を受ける立澤理事長



その他の表彰

★感謝状の受賞 次の3団体から感謝状を受賞しました。

- ・ 浦安市
- ・ 社会福祉法人千葉いのちの電話
- ・ 社会福祉法人千葉県社会福祉協議会





令和元年中の社会貢献活動

当協力会は、設立以来一貫して地域に根ざした社会貢献活動を続けております。

令和元年中、当協力会は次の団体が推進している社会福祉活動、慈善事業等に対して支援を行いました。

- ★ 公益社団法人 千葉県防犯協会
- ★ 公益財団法人 千葉県暴力団追放県民会議
- ★ 公益財団法人 千葉日報福祉事業団
- ★ 公益財団法人 千葉県警察育英会
- ★ 更生保護法人 千葉県婦性会
- ★ 社会福祉法人 千葉県社会福祉協議会
- ★ 社会福祉法人 千葉いのちの電話
- ★ 千葉県少年警察ボランティア協議会
- ★ 千葉犯罪被害者支援センター



親睦ゴルフを開催

令和元年11月14日、京葉カントリー倶楽部において、当協力会の親睦ゴルフを開催しました。千葉県遊技業協同組合から3名の来賓をお招きし、真剣半分和気あいあいと楽しく親睦を深めることが出来ました。

